

2 主な整備箇所(地域版)

3 周南地域のみちづくりに関する現状と課題

求められる主な取組

- ・港湾や広域交通拠点へのアクセス強化による**物流等の迅速化・円滑化**
- ・中山間等の拠点間の道路整備による**交流・連携の強化**
- ・バイパス整備等による**渋滞対策の推進**
- ・歩道の整備等による**交通安全対策の推進**
- ・緊急輸送道路等の**橋梁の耐震補強**
- ・離島架橋をはじめとした**道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等**

中山間地域の交流・連携

道(の)駅から中山間地域へ(出)向
中山間地域 ミニコミュニティの形成(小さな拠点)
交流連携の場 地域福祉の場

市役所から30分で到達できないエリアがある

道の駅「ソレネ周南」

道の駅「ソレネ周南」は、国道2号沿いに立地しており、「オール周南で24時間周南ブランド発信」をコンセプトに、例えば、中山間地で、高齢者が庭先で作った農産物や加工品を宅配業者が集荷を行い道の駅までの運搬をサポートするなど、地域の課題解決に取り組んでいます。このため、こうした中山間地域の交流・連携の取組を支える道路の整備が求められています。

道の駅利用時の一時退場が追加料金なしに
-「賢い料金」社会実験実施中-

資料:国土交通省 中国地方整備局

県内共通 歩行者・自転車・二輪車の事故件数

周南地域では、人口1,000人当りの交通事故件数のうち歩行者・自転車・二輪車の事故件数が、県内の他の地域に比べて高い状況です。このため、歩行者・自転車・二輪車が安心して通行できる道路空間の創出が必要です。

[交通事故件数 歩行者・自転車・二輪車の1,000人当り事故件数]

地域	歩行者・自転車・二輪車の事故件数(1,000人当り)
周南地域	1.0
下関地域	0.5
岩国地域	0.5
山口・防府地域	0.5
柳井地域	0.5
宇部・小野田地域	0.5
萩地域	0.5
長門地域	0.5

資料:交通統計 令和元年(山口県警察本部)

臨海部の物流の円滑化

徳山下松港

平成23年に宇部港とともに「国際バルク戦略港湾(石炭)」に選定されており、大型船舶での大量一括輸送により、我が国産業に必要不可欠な石炭やバイオマス等を安定的かつ安価に供給し県内企業の国際競争力を強化する役割が期待されています。

本港は背後地域を中心とした県内産業の基盤として、また物流の拠点としての役割を強く要請されていますが、臨海部エリアから、山陽自動車道や国道2号などの幹線道路への円滑なアクセスが確保されていないことから、こうした課題を解消し、物流の一層の円滑化を図る必要があります。

PRポイント

- ・県下最大の水深の公共岸壁(〜14m)
- ・原塩輸入量 全国第1位(2016年実績)
- ・石炭輸入量 全国第4位(2016年実績)
- ・セメント移出量 全国第2位(2016年実績)
- ・石炭移出量 全国第1位(2016年実績)
- ・港湾区域面積 全国第5位(2017年4月1日現在)
- ・総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)に指定
- ・臨海部産業エリア形成促進港に指定(全国初)
- ・国際バルク戦略港湾(石炭)に選定

[取扱貨物量(R元)] (単位:千トン)

港	取扱貨物量(R元)
下関港	4,470
徳山下松港	50,785
岩国港	15,180
三田尻中間港	5,194
宇部港	31,334
小野田港	3,616

資料:令和元年港湾統計山口県のみと(山口県港湾課)

周南コンビナートの工場夜景は、日本七大大工場夜景の一つに数えられ、全国的にも高い評価を得ています。

道の駅 市役所等 産業団地 観光地 主要渋滞箇所 主要渋滞箇所(解除) 第三次医療施設 第二次医療施設

広域連携軸 都市間連携軸 拠点間連携軸 都市拠点 地域拠点

徳山動物園 徳山緑地公園 須金フルーツランド 八代のナベツル 三丘温泉 伊藤記念公園 徳山下松港 下松スポーツ公園 虹ヶ浜海水浴場 冠山総合公園 普賢寺 徳山 徳山東 徳山西 徳地 鹿野 周南 周東 熊毛 天和 田布施

県内共通 道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらし恐れがあります。このため、唯一の陸上交通手段である笠戸大橋や小瀬戸橋などの適切な対策が必要です。

市街地の慢性的な渋滞

当該地域は、徳山下松港(国際拠点港湾)、JR山陽新幹線徳山駅、山陽自動車道徳山東IC等の広域交通拠点整備されている交通の要衝です。しかしながら、市街地では、域内交通と通過交通の混在により、渋滞が発生しており、これらの解消が喫緊の課題です。

H27 損失時間 [渋滞損失時間]

H27道路交通センサから図化

県内共通 災害等による通行規制

周南市と光市、田布施町を結ぶ主要幹線道路は、海岸部に位置する国道188号のみであり、台風時の越波や土砂災害等により交通が遮断されると、通勤・通学や物流などに大きな影響を与えます。また、中山間部と市街地を結ぶ国道315号の河内峠や栄谷などにおいては、積雪・凍結により安全な通行に支障をきたしており、災害時にも機能する信頼性の高い道路網の確保が求められています。

[H30.7災害に伴う国道188号(下松・光間)の交通規制の影響]

影響の有無	割合
影響がなかった	6%
影響があった	94%

資料: H31企業ヒアリング

周辺の企業の声

- ・渋滞による輸送効率の低下が著しくあった。
- ・渋滞により輸送を断念した。
- ・高速道路を利用したため輸送コストが上がった。
- など

徳山下松港 下松スポーツ公園 虹ヶ浜海水浴場 冠山総合公園 普賢寺 徳山 徳山東 徳山西 徳地 鹿野 周南 周東 熊毛 天和 田布施

県内共通 大規模地震時の耐震性

大規模地震時の緊急輸送路を確保するためには、緊急輸送道路上の橋梁や離島架橋等の耐震補強を推進する必要があります。

2 主な整備箇所(地域版)

3 周南地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

産業・地域を「支える」
 物流等の迅速化・円滑化
 特殊車両通行許可制度の改善等
 ○交流・連携の強化
 ○バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進

3-a 周南道路(下松～光間含む)
 3-b 県道下松新南陽線

人々のいのちを「守る」
 ○生活道路等における交通安全対策の推進

3-c 県道久杉高水停車場線
 3-d 県道徳山新南陽線

災害に「備える」
 ○広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
 防災・減災対策の推進
 橋梁の耐震補強

3-e 国道315号
 県道徳山下松線

未来に「つなぐ」
 ○老朽化した道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等
 日常的な維持管理の充実・効率化
 異常気象時等の対応

県道串夜市線
 県道徳山徳地線

その他、中国縦貫自動車道、山陽自動車道へのスマートインターチェンジの設置

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面対策
- 耐震化
- 無電柱化
- 長寿命化
- スマートインターチェンジ

- 道の駅
- 市役所等



主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
3-1	国道2号 (富海拡幅)	現道拡幅	完成 (R7)	●	●	●	●
3-2	国道434号 (水越拡幅)	現道拡幅	完成 (R4)	●	●	●	●
3-3	県道徳山光線 (阿田川～中須南)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
3-4	県道鹿野吉賀線 (鹿野上)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	●
3-5	県道光柳井線 (虹ヶ丘)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
3-6	県道串戸田線 (木屋ヶ迫～柚木河内)	バイパス	完成 (R4)	●	●	●	●
3-7	県道串戸田線 (打木野)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	●
3-8	県道新南陽津和野線 (下上野)	自歩道整備	事業継続	●	●	●	●
3-9	県道光日積線 (岩田)	自歩道整備	事業継続	●	●	●	●
3-10	県道光玖珂線 (島田)	自歩道整備	完成 (R6)	●	●	●	●
3-11	県道光玖珂線 (虹川)	歩道整備	事業継続	●	●	●	●
3-12	都計道川園線 (県道徳山光線) (浅江～木園一丁目)	自歩道整備	事業継続	●	●	●	●
3-13	都計道国道山手線 (県道下松新南陽線) (清瀬町～末武中)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	●
3-14	都計道中央道線 (県道下松新南陽線) (久米)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	●
3-15	都計道新南陽停車場線 (県道新南陽津和野線) (政所～下上)	自歩道整備	完成 (R3)	●	●	●	●
3-16	県道笠戸島線 (笠戸島)	のり面対策	事業継続	●	●	●	●
3-17	県道徳山下松線 (切戸大橋)	耐震化	事業継続	●	●	●	●
3-18	国道489号 (津浦ヶ峠トンネル)	長寿命化	完成 (R4)	●	●	●	●
3-19	県道笠戸島公園線 (笠戸大橋)	長寿命化	事業継続	●	●	●	●
3-20	都計道中央通り線 (西千代田町～古川町)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	●
3-21	県道新南陽津和野線 (下上徳善)	自歩道整備	事業継続	●	●	●	●

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

2 主な整備箇所(地域版)

3 周南地域の主な整備中箇所

3-1 国道2号(富海拡幅)

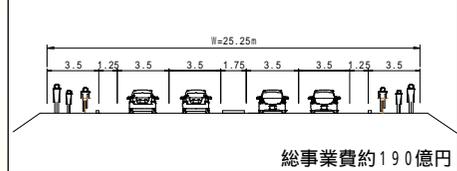
支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 3.6 km
幅員	W = 25.25 m
着手年度	平成23年度

R7 完成

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 防府市から周南市間における国道2号の渋滞を緩和します。
- ◆ 線形不良箇所の解消や中央分離帯を設置し、安全で円滑な交通を確保します。



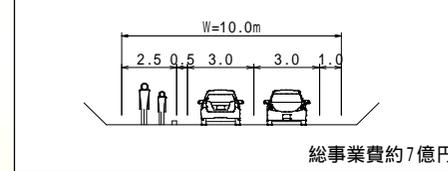
3-3 県道徳山光線(阿田川～中須南)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 1.3 km
幅員	W = 10.0 m
着手年度	平成11年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 国道376号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。



3-2 国道434号(水越拡幅)

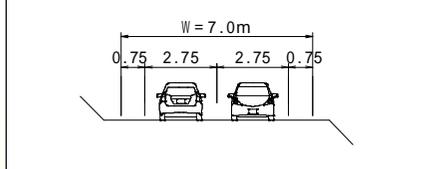
支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 1.0 km
幅員	W = 7.0 m
着手年度	平成28年度

R4 完成

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 見通しの悪い箇所を解消します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



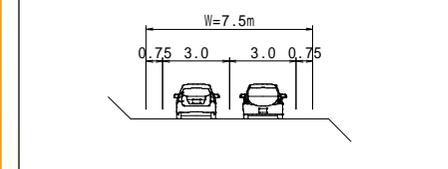
3-4 県道鹿野吉賀線(鹿野上)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 0.4 km
幅員	W = 7.5 m
着手年度	平成27年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 温泉施設やオートキャンプ場等の観光施設へのアクセス性を向上します。
- ◆ 旧鹿野町市街地へのアクセス性を向上します。



2 主な整備箇所(地域版)

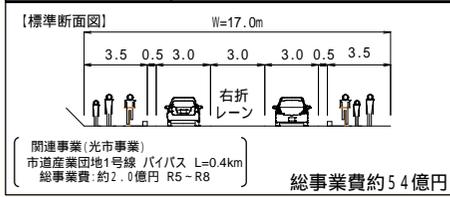
3 周南地域の主な整備中箇所

3-5 22 県道光柳井線(虹ヶ丘)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 0.8 km
幅員	W = 17.0 m
着手年度	平成27年度



目的(効果)

- ◆ 光市街地の渋滞を緩和します。
- ◆ 国道188号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。

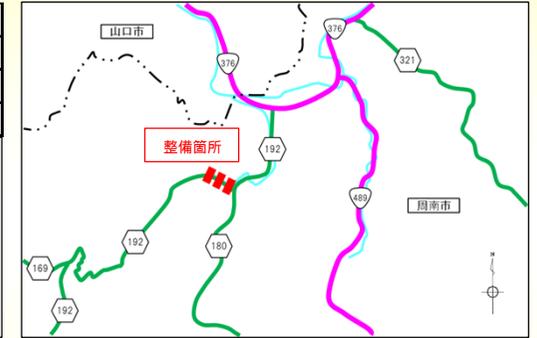
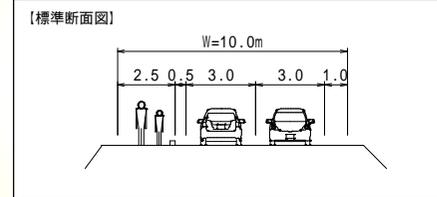


3-7 192 県道串戸田線(打木野)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 0.58 km
幅員	W = 10.0 m
着手年度	平成15年度



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 歩行者の通行の安全を確保します。

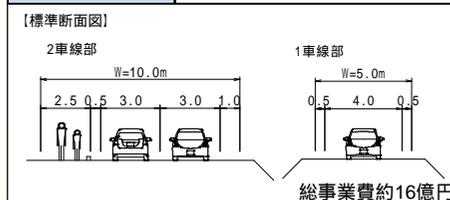


3-6 192 県道串戸田線(木屋ヶ迫～柚木河内)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 2.3 km
幅員	W=10.0m, 5.0m (1.5車線の道路整備)
着手年度	平成13年度



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 湯野温泉や病院、リハビリ施設へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。

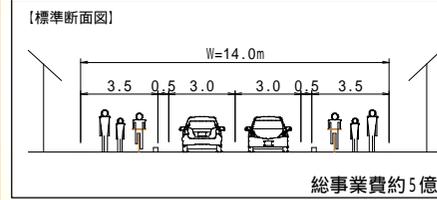


3-8 3 県道新南陽津和野線(下上上野)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	自歩道整備
延長	L = 0.2 km
幅員	W = 14.0 m
着手年度	平成30年度



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

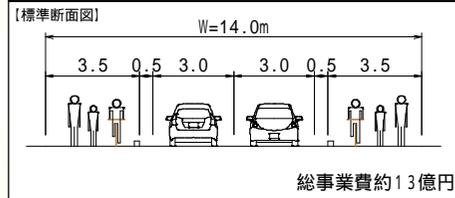
3 周南地域の主な整備中箇所

3-9 68 県道光日積線(岩田)

支える 守る 備える つなく

概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 0.6km
幅 員	W = 14.0m
着手年度	平成29年度



目的(効果)

- ◆ 岩田駅周辺地区の「コンパクトなまちづくりモデル事業」と連携し、地区内の道路を整備することで、快適で便利なまちづくりを推進します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

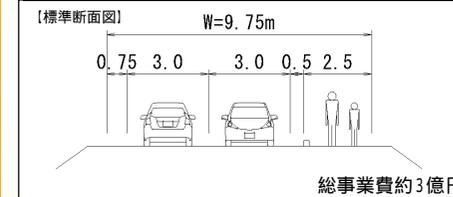


3-11 144 県道光玖珂線(虹川)

支える 守る 備える つなく

概要

内 容	歩道整備
延 長	L = 0.3km
幅 員	W = 9.75m
着手年度	平成23年度



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 線形を改良し、安全で円滑な交通を確保します。

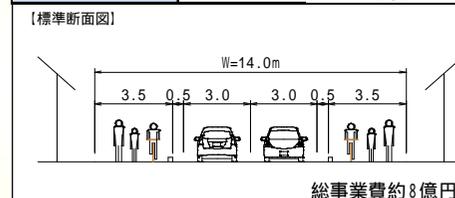


3-10 144 県道光玖珂線(島田)

支える 守る 備える つなく

概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 0.8km
幅 員	W = 14.0m
着手年度	平成24年度



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



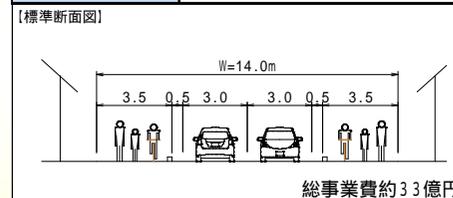
3-12 都計道川園線(浅江～木園一丁目)

支える 守る 備える つなく

8 県道徳山光線

概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 0.8km
幅 員	W = 14.0m
着手年度	平成27年度



目的(効果)

- ◆ JR山陽本線と立体交差化し、踏切事故の危険性を解消するとともに、円滑な交通を確保します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

3 周南地域の主な整備中箇所

3-13 都計道国道山手線(清瀬町～末武中)

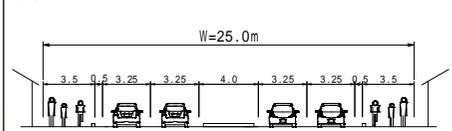
347 県道下松新南陽線

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 1.0km
幅員	W = 25.0m
着手年度	平成26年度

【標準断面図】



総事業費約3.3億円



目的(効果)

- ◆ 下松市から周南市間における渋滞を緩和します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



3-15 都計道新南陽停車場線(政所～下上)

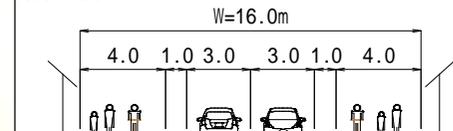
3 県道新南陽津和野線

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	自歩道整備
延長	L = 0.8km
幅員	W = 16.0m
着手年度	平成5年度

【標準断面図】



総事業費約5.1億円

R3 完成



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



3-14 都計道中央通線(久米)

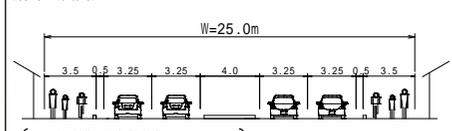
347 県道下松新南陽線

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 0.6km
幅員	W = 25.0m
着手年度	平成26年度

【標準断面図】



関連事業(周南市事業)
市道周陽孝田線 現道拡幅 L=0.2km
総事業費: 約2.5億円 R3-R8

総事業費約2.8億円



目的(効果)

- ◆ 下松市から周南市間における渋滞を緩和します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



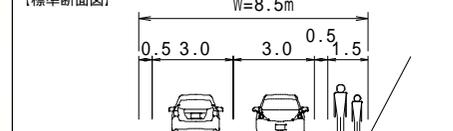
3-16 173 県道笠戸島線(笠戸島)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	のり面対策
延長	L = 0.05km
幅員	W = 8.5m
着手年度	平成30年度

【標準断面図】



総事業費約1億円



目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

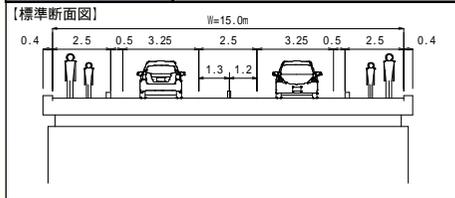
3 周南地域の主な整備中箇所

3-17 366 県道徳山下松線(切戸大橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	耐震化
延長	L = 0.03km
幅員	W = 15.0m
着手年度	平成26年度



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。

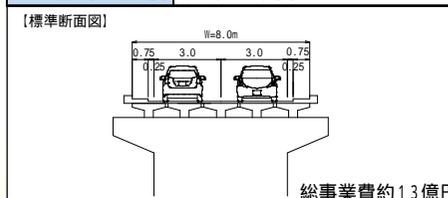


3-19 174 県道笠戸島公園線(笠戸大橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	長寿命化
延長	L = 0.5km
幅員	W = 8.0m
着手年度	平成23年度



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



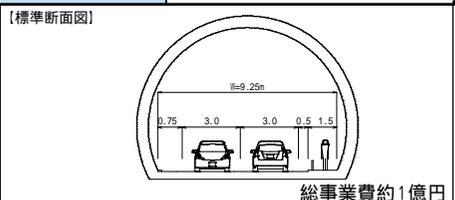
3-18 489 国道489号(津浦ヶ峠トンネル)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	長寿命化
延長	L = 0.6km
幅員	W = 9.25m
着手年度	平成29年度

R4 完成



目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。



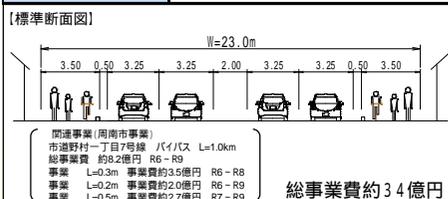
3-20 都計道中央通り線(西千代田町~古川町)

支える 守る 備える つなぐ

347 県道下松新南陽線

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 0.7km
幅員	W = 23.0m
着手年度	令和5年度



目的(効果)

- ◆ 周南市街地における渋滞を緩和します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

3 周南地域の主な整備中箇所

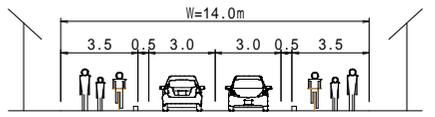
3-21 3 県道新南陽津和野線(下上徳善)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	自歩道整備
延長	L = 0.2km
幅員	W = 14.0m
着手年度	令和6年度

[標準断面図]



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の通行の安心・安全な交通環境を確保します。

